




## 2022 年度 福祉助成金（活動助成） 成果報告書

ふりがな	とくていひえいりかつどうほうじんおかやまびゅーていさみっと	
団体名	特定非営利活動法人オカヤマビューティサミット	
代表者名	柚木幸子	
連絡先	住所	岡山市北区表町 1-3-46-2 階
	TEL	086-221-0244
	E-mail	info@okayamabs.org
	URL	https://okayamabs.org
設立年（西暦）	2012年	
助成活動名	経済的自立に向けた居場所づくり	
助成額	500,000 円	
活動内容	目的	<p>現在新型コロナウイルスの影響により仕事や生活の不安が浮化している。令和2年の自殺者数は21,081人となり、対前年比912人（約4.5%）増。女性は2年ぶりの増加し20歳代が最も大きく増加し、404人の増加となった。職業別で言うと被雇用者・勤め人が最も大きく増加し、540人の増加している。（R3年3月厚生労働省自殺対策推進室発表）これは新型コロナウイルスの影響による収入減少や日常生活におけるストレスも影響しているのではないかと考える。</p> <p>実際に相談に来られるひとり親・困窮家庭の親の悩みとして「仕事(収入)・子育て・生活全般」が多く毎月40世帯中半数ほどがコロナ禍の影響であると言われている。</p> <p>「美容技術取得・就労支援→収入増加、働き方」で、困難を抱える当事者の方の生活基盤を作り、経済的に自立することで心も豊かにしていく必要があると考える。</p>
	内容	<p>①美容技術取得就労支援 年間6名の美容技術取得・就労支援を行った。</p> <p>◇各講座内容◇</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フェイシャル及びボディ講座：2.5時間 x 10回 + 修了試験1回 受講料：通常217,800円のところ本事業にて対象者負担額55,000円とする。</li> <li>・経絡式ヘッドマッサージ16,500円 フットマッサージ33,000円 ハンドマッサージ26,500円 のところ本事業にて対象者40%負担での受講料とする。</li> </ul> <p>②2021年度受講生の就労継続・開業支援 半年に一度、修了生の現状把握のため面談を行う</p>
	成果	<p>①美容技術取得就労支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応募者10名</li> <li>・受講者6名 (うち3名：3月末で受講終了とならず現在受講中 / 1名：病気のため休講中)</li> <li>・貴団体での美容技術取得・就労支援事業支援は2022年度が最後ということもあり、2～3月の問合せや応募者が増えた。</li> </ul> <p>②2021年度受講生の就労継続・開業支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自営開業者3名継続中</li> <li>・1名：バイトにてサロン勤務開始</li> <li>・2名求職中</li> </ul> <p>— ●広報</p>

	<p>①HP・SNS・公式LINEからの募集 HP/インスタグラム/公式LINEを活用し、募集を募り6名の応募や問い合わせがあった。</p> <p>②月刊誌さりおや印刷配布物からの募集 4名の応募申込や問い合わせがあった。</p> <p>●受講生・修了生からの声 受講生にアンケートを行ったところ以下の声があがった。</p> <p>◇受講の決め手 「母子家庭なので、少しでも費用を抑えて学べる場所」 「結(当施設)イベントに来ていて受講しようと思った」 「ひとり親家庭や低所得者に手厚いところ」</p> <p>◇受講日程と時間 「仕事に合わせて受講時間を変更してくれた」 「子どもの体調が悪い時に別日に変更できた」</p> <p>◇講師のサポート 「面談や講座後も自営に向けて相談ができた」 「講師が気さくでしゃべりやすく安心して講義を受けれた」</p> <p>◇講座を始めたことでの家庭での変化 「子どもに練習モデルになってもらうことで親子のふれあいが増えた」 「子どもの足をマッサージして柔らかくなった」</p> <p>◇講座内容の良かった点 「テキストだけではなく動画でも練習できて良かった」</p> <p>◇受講後のサポート 「スクール専用のLINEで、自営業やサロン勤務に必要な情報が配信された」</p> <p>●講座継続の工夫 ・申込前のヒアリング時に受講生の環境状況によってペースを調整することで無理なく通えるよう努めた。また受講後、つぎの講座日まで技術練習の不安を解消するために動画を作成し共有することで不安を解消。適時修了まで面談を行いモチベーション維持することで修了できるよう努めた。 ・実技にはモデル(人)が必要なため、ボランティア登録者などに呼びかけひとり親家庭の母親の技術取得に協力をしてもらった。 ・面談にはカラーセラピーを活用して緊張感をほぐし話しやすくした。</p>
<p>今後の課題と対応策</p>	<p>◇課題◇ ・今回の事業で講座の問い合わせが増えたものの10名枠中6名だった。 ・受講生によっては対象者ではない方や受講したいが仕事との両立や体調との相談などにより6名に至った。</p> <p>◇対応策◇ 本人の確認書類(世帯収入状況)なども提出してもらい一定の基準を設けた。 本人の生活背景に寄り添って対応できるよう補講制度で一定期間で終了できなくても対応できる制度を作った。 ・広報 本事業が終了しても一定数のニーズがあることがわかった。今後もSNSや配布資料・紙媒体などを駆使しながら周知に努め、一人でも多くの方にこの仕組み(対象者減額制度)を伝えていく。</p>
<p>写真の提出</p>	<p>【実技】フェイシャル講座／ボディ講座</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>基礎技術の指導を行った。</p>

【知識】 教本に沿って勉強・ミニテスト



実技だけではなくサロンワークに使えれる知識等も指導した。

【面談】 面談時カラーセラピーを行った様子



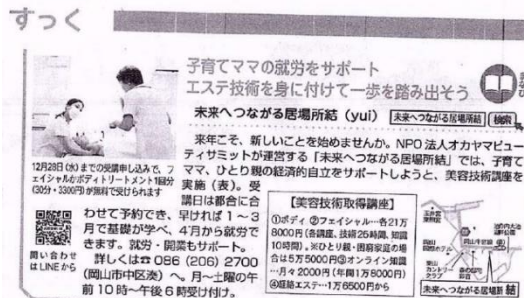
面談にカラーセラピーを活用。オンラインでカラーを通じて面談をすることで緊張をほぐしてもらえるように工夫した。

【広報】

チラシや SNS 画像を制作し対象者に広く届くよう努めた



さりお広告



無料配布「さりお」に掲載